

二級と木造の両方を申請される方は各々申請書を作成すること。

第1号様式
二級
~~木造~~ 建築士免許申請書（第1面）

二級
私は、~~木造~~ 建築士の免許を受けたいので、本籍地の記載のある住民票の写しを添え、申請します。

私は、下記事項が真実で、かつ、正確であることを誓います。

令和 〇 年 〇 月 〇 〇 日

京 都 府 知 事

京都府指定登録機関 様

一般社団法人京都府建築士会会長

氏名 建築 太郎

ふ り が な 氏 名	けんちく たろう 建築 太郎	生年 月 日	S 〇 年 〇 月 〇 日生	写 真 1 縦4.5cm、横3.5cmの写真の裏面に氏名及び撮影年月日を記入しての りて貼付けてください。 2 貼り付けた写真は免許証に転写されます。
本 籍 地	〇 〇 (都・道・府 県)	性 別	男 ☒ 女 ☐	
住 所	〒 〇〇〇-〇〇〇〇 京都府〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇〇マンション201号室 電話 〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇			
試 験	建築士試験に合格した年 令和2 年 合格通知書日付 令和2年12月3日 受 験 番 号 (合 格 番 号) 5B-12345K 号			
登録申請区分		1 学歴 ☒ 2 学歴+実務 ☐ 3 実務 ☐ 4 建築士法第4条第5項 ☐		
1 学歴により申請する場合のみ記入	学校名	学部名・学科名		入学・卒業（修了）年月
	〇〇大学	〇〇学部〇〇学科		H28年 4月入学 R2年 3月卒業(修了)
				年 月入学 年 月卒業(修了)
2 学歴+実務により申請する場合のみ記入	学校名	学部名・学科名	入学・卒業（修了）年月	建築実務経験期間の合計
			年 月入学 年 月卒業(修了)	年 箇月
			年 月入学 年 月卒業(修了)	
3 実務により申請する場合のみ記入	建築実務経験期間の合計		年 箇月	
4 建築士法第4条第5項の規定により申請する場合のみ記入	免許名称	免許者名	免許の年月日	資格認定書の年月日
			年 月 日	年 月 日

欠 格 事 由	1 禁錮以上の刑に処せられたことがありますか。 あるときはその罪及び刑 あるときはその刑の執行を終わり、又は執行を受けることがなくな った日	ある ☐	ない ☒	年	月	日	
	2 建築士法の規定に違反して、又は建築物の建築に関し罪を犯して 罰金の刑に処せられたことがありますか。 あるときはその罪及び刑 あるときはその刑の執行を終わり、又は執行を受けることがなくな った日	ある ☐	ない ☒	年	月	日	
	3 建築士法第9条第1項第4号又は第10条第1項の規定により一級 建築士、二級建築士又は木造建築士の免許を取り消されたことがあ りますか。 あるときは、その日	ある ☐	ない ☒	年	月	日	
	4 建築士法第10条第1項の規定による業務の停止の処分を受け、そ の停止の期間中に建築士法第9条第1項第1号の規定により一級建 築士、二級建築士又は木造建築士の免許を取り消されたことがあり ますか。 業務の停止の処分を受けたことがあるときは、その停止の期間	ある ☐	ない ☒	年	月	日から	
	5 精神の機能の障害により二級建築士又は木造建築士の業務を適正 に行うに当たって必要な認知、判断及び意思疎通を適切に行うこと ができない状態ですか。	はい ☐	いいえ ☒	年	月	日	
※確認						※合格通知書 照 合 欄	
※登録 番号			※登 録 年月日	年	月	日	※受付 番号

- 注 1 「二級
木造」の箇所は、不要の文字を抹消すること。
- 2 数字は算用数字を用い、※印のある欄は記入せず、□のある欄は該当する□の中にレ印を付けること。
- 3 氏名及び住所は、住民票に記載されているとおり正確に記入すること。
- 4 試験の受験番号（合格番号）は、合格年が令和元年以前の場合は合格番号を
令和2年以降の場合は受験番号を記入すること。

以下の事項は、円滑な登録実施のため、記入について協力ください。（□の中にレ印）

告 示 等 に 基 づ く 学 歴 等 区 分 （ 登 録 申 請 時 ）	☐ 大学・短大・高専卒 40単位 50	☐ 職能大（短大）卒 40単位 51	☐ 大学・短大・高専・ 職能大等卒 30単位 52	☐ 大学・短大・高専・ 職能大等卒 20単位 53
	☐ 高校・中学卒 20単位 54	☐ 高校・中学卒 15単位 55	☒ 専修（高校卒） 2年以上 40単位 56	☐ 専修（高校卒） 2年以上 30単位 57
	☐ 専修（高校卒） 1年以上 20単位 58	☐ 専修・職訓校（中学卒） 2年以上 15単位 59	☐ 専修・職訓校（中学卒） 1年以上 10単位 60	☐ 職訓校（高校卒） 3年以上30単位 61
	☐ 職訓校（高校卒） 1年以上20単位 62	☐ 職訓校（中学卒） 3年以上20単位 63	☐ 実務経験 （7年以上） 64	☐ その他 （建築設備士等） 65

京都建築大学校の方は【専修】にチェックして下さい
※大学ではございません。